

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大阪市立中央図書館		代表者名	西 徹	
担当者部署	利用サービス担当		連絡先電話番号	06-6539-3326	
担当者役職	担当係長	担当者氏名	西尾 真由子	連絡先E-mail	
住所	550-0014 大阪府大阪市西区北堀江4-3-2				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山崎 博樹
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	実際の現場でのデジタルアーカイブ運用について、アドバイザーご自身の実体験や、これまでの派遣事業での他機関へのヒアリングなどによって情報収集された内容で、理解しやすい内容だった。図書館自体の運営の課題等のバックグラウンドについても知識も豊富で、納得性があった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和6年2月19日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			18時00分	20時00分	
			活動時間（分）	120	
3-2. 派遣場所	会場名	大阪市立中央図書館	最寄駅	Osaka Metro西長堀駅	
	所在地	大阪市西区北堀江4-3-2	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市民一般	45人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	2021年3月に中央図書館の地下1階を一部改修し、人と人、人と本とが出会う場として「Hon+α！（ほな！）スペース」ができました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、なかなか人と人とが交流することが難しい状態が続きましたが、新型コロナウイルス感染症5類への移行を受けて、この場の新しい活用を検討しています。可動式の机やイスがあり、Wi-Fiも利用できるスペースであるため、大阪市立図書館デジタルアーカイブオープンデータを活用したイベントや、地域の企業・団体と連携した大阪ならではの取り組み、2025年の大阪・関西万博を見据えた取り組み等を展開したいと考えています。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	・国や自治体の図書館デジタルアーカイブの最新動向と、デジタルアーカイブシステムについての知識の習得 ・ICTを活用した最新の図書館の取り組み事例（デジタルアーカイブ以外の活用や、市民とのつながりも含めて）、地域の企業や市民を巻き込んだ図書館活用の事例を伺い、継続したデジタルアーカイブ利活用についての事例検討	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	・市民向けの講演会「知って未来を考える 世界と日本の図書館のいま」の実施 オープンスペース「Hon+α！（ほな！）スペース」での講演会の実施。デジタルアーカイブについての周知（システムのなことも含めた情報提供）と、その継続した利活用事例の共有。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・山崎氏は、地域情報化アドバイザーとして長年社会教育施設のICT化にも尽力されておられたので、図書館の社会的意義についても講演会の中で触れられ、そのために、公共図書館が提供するデジタルアーカイブの利活用が一助になると仰った。参加された市民の方からもご質問が出るなど、活発な議論がなされた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 参加者に対して、デジタルアーカイブの有用性を周知できた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	デジタルアーカイブの利活用を推進するために有用な連携先・関係先を模索し、デジタルアーカイブの有用性についての理解を深めることが必要と考える。今後、地域情報化アドバイザー派遣を依頼する際に、教職員やMLA関係者など想定される連携先も一緒に議論できるような場を設ける等も検討したいと考える。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 オープンスペースでの実施のため、アンケートは実施していない。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	特に学校教職員及び指導部職員へのデジタルアーカイブ有用性の理解を深めたい。その後、デジタルアーカイブや図書館資料を活用した教材づくりを行い、GIGAスクールで導入された端末等から子どもたちがそれらを活用し、また、学びから得た内容を追記してアーカイブしていき、新たな地域資料として記録していき、知識を循環させることができると考えている。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

